

## 香南市人生支援計画 期別ごとの目標及び指標設定

【令和2～6年度】

変更箇所一覧	…	P2	～	P3
幼年期	…	P4	～	P6
就学期	…	P7	～	P10
成年期	…	P11	～	P15
熟年期	…	P16	～	P18
高齢期	…	P19	～	P21

評価指標の変更（変更した指標は別冊2で赤字になっています）

幼年期

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進					
	2	—	母子健康手帳交付数	削除	No. 2の指標へ変更
★目標 親と子の心と体の健康づくり					
	—	2	—	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(1歳7か月健診)	事業の効果等がよりわかりやすくなるように母子手帳交付数から変更するもの。
	4	3	育児相談利用者数(延)	ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間がある母親の割合(1歳7か月健診)	事業の効果等がよりわかりやすくなるように育児相談利用者数から変更するもの。
★目標 質の高い保育・教育の推進					
	10	—	本の読み聞かせ回数(こども課・健康対策課)	削除	保育所・幼稚園事業として継続実施されており、目標を掲げる指標ではないと判断し削除するもの。(こども課) 乳幼児健診で絵本を配布することを今後見直すため削除するもの。(健康対策課)

就学期

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり					
	16	15	夏休みこども教室の開催回数	夏休みこども教室の開催(参加人数)	事業の効果等がよりわかりやすくなるように回数から人数へ変更するもの。
★目標 親と子の心と体の健康づくり					
	18	—	親子料理教室開催数	削除	安定した開催数(希望者数)で継続実施されており、目標を掲げる指標ではないと判断し削除するもの。
★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり					
	20	18	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(小学校)	将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校)	目標指標をはかるアンケート項目の表記に合わせるもの。
	21	19	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(中学校)	将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学校)	目標指標をはかるアンケート項目の表記に合わせるもの。
	22	20	地域学校協働本部設置数	地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数	全校設置の目標をR1年度で達成したため、設置後の活動についての指標へ変更するもの。
★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり					
	25	23	スポーツ大会開催数(小中高生対象)	スポーツ大会参加者数(小中高生対象)	事業の効果等がよりわかりやすくなるように回数から人数へ変更するもの。

成年期

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進					
	32	—	健康チャレンジポイントチャレンジ者数(20歳以上40歳未満)	削除	R3年度末で事業終了が決定しているため削除するもの。
	42	30	運動習慣(週2回)20~39歳	成人歯科健診受診者数(30歳)	「運動習慣」の指標対象者が「特定健診を受診した人」という限定的なものであったため、市民全体が対象であり、R1年度からの新規事業でもある歯科健診の受診者数を指標とするもの。

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進（妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進）					
	37	—	母子健康手帳交付数	削除	No. 2の指標へ変更
★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援					
	38	35	生涯スポーツ教室の開催回数	生涯スポーツ教室の参加者数	事業の効果等がよりわかりやすくなるように回数から人数へ変更するもの。
	36	36	市長杯・教育長杯の開催数	市長杯・教育長杯の参加者数	事業の効果等がよりわかりやすくなるように回数から人数へ変更するもの。
★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援					
	43	39	D V相談窓口利用者数	D V相談窓口数	相談しやすい環境づくりのため、より適切な指標（相談者数→窓口数）に変更するもの。
★目標 移住者ウェルカム支援の推進					
	47	43	空き家バンク登録数	空き家バンク新規登録数	より具体的にわかりやすくなるように述べ登録数から変更するもの。
	49	45	地域おこし協力隊の隊員数	地域おこし協力隊任期満了後の定住者数（累計）	隊員数は今後増加の方針ではないため、移住・定住の観点から変更するもの。

### 熟年期

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進					
	54	—	健康チャレンジポイントチャレンジ者数（40歳以上65歳未満）	削除	R3年度末で事業終了が決定しているため削除するもの。
	56	50	運動習慣（週2回）40～74歳	成人歯科健診受診者数（40・50・60歳）	指標の対象者が「特定健診を受診した人」という限定的なものであったため、市民全体が対象であり、R1年度からの新規事業でもある歯科健診の受診者数を指標とするもの。
★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援					
	—	52	—	地域活性化総合補助金活用自治会数	まちづくりに関する指標を新たに追加するもの。
★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援					
	57	53	D V相談窓口利用者数	D V相談窓口数	相談しやすい環境づくりのため、より適切な指標（相談者数→窓口数）に変更するもの。

### 高齢期

ページ	旧番号	新番号	変更前(旧)	変更後(新)	備考
★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進					
	62	58	パークゴルフ・ペタンク参加者数	軽スポーツの参加者数	パークゴルフ・ペタンクだけでなく、グラウンドゴルフも対象に入れるため。
	63	59	運動習慣（週2回）40～74歳	成人歯科健診受診者数（70歳）	指標の対象者が「特定健診を受診した人」という限定的なものであったため、市民全体が対象であり、R1年度からの新規事業でもある歯科健診の受診者数を指標とするもの。
	64	—	健康チャレンジポイントチャレンジ者数（65歳以上）	削除	R3年度末で事業終了が決定しているため削除するもの。
★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進					
	67	62	在宅介護手当・介護用品支給利用者数	軽度生活援助事業 利用者数（1月あたり）	高齢者の生活支援という観点から、より実態や課題の把握に適している指標へ変更するもの。

人生の期別	幼年期(生まれてから小学校就学前)
基本方針	誰もが安心して子どもを産み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進										
1	パパママ教室 参加率 【成年期No.34同指標】	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%		【設定根拠】
		実績値	20.8%							香南市母子保健事業計画書
	達成(評価) (C)	A								
	事業内容(D)	◆年に3回、妊娠中の生活、出産について、呼吸法、妊婦体操他、妊娠中と授乳期の食生活、妊娠中の歯の健康などを開催し、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。								
	現状と課題(C)	・1回の内容が沢山になっており夫婦や妊婦同士の交流の時間が少ない。 ・沐浴体験や呼吸法、夫の疑似体験等の実技の内容に興味がある方が多い。 ・産後起こりうる心身の変化や対処について伝える機会が少ない			今後に向けた 具体的な取組(A)		休日開催を入れ回数を増やし妊婦だけではなく夫等多くの方に参加してもらえる様に夫への健康教育等内容を変更し実施していく。			

★目標 親と子の心と体の健康づくり										
2	この地域で子育てをしたい と思う親の割合 (1歳7か月健診)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%		【設定根拠】
		実績値	95.0%							香南市母子保健事業計画書
	達成(評価) (C)	-								
	事業内容(D)	◆1・7ヶ月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげこの地域で子育てをしたいと思う家族を増やせるようにしていく。								
	現状と課題(C)	1・7健診 回数:月1回(年12回)実施。 内容:計測・問診・診察・歯科診察・栄養指導・歯科指導・フッ素塗布・保健指導・臨床発達心理士の行動観察 課題:健診受診率は県平均と比べると低い。 健診の必要性を分かってもらえていない保護者も一定数おり受診していない子どももいる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		乳幼児健診の必要性を継続して働きかけると同時に、健診会場では母親の困りごとや不安が相談できるような環境をつくっていく。 仕事等の都合により転入がある為この地域で子育てをしたいと思う保護者が増える様に、必要な親子には一時預かりや保育園等子育てサービスの紹介を行い関係機関と連携を図っていく。			
3	ゆったりとした気分で子供 と過ごせる時間がある母 親の割合 (1歳7か月健診)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		【設定根拠】
		実績値	73.8%							香南市母子保健事業計画書
	達成(評価) (C)	-								
	事業内容(D)	◆1・7ヶ月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ楽しくゆったりとした気持ちで子育てできる母親を増やせる環境を整えていく。								
	現状と課題(C)	回数:月1回(年12回)実施。 内容:計測・問診・診察・歯科診察・栄養指導・歯科指導・フッ素塗布・保健指導・臨床発達心理士の行動観察 課題:県平均の受診率と比べるとやや低い状況にあり、健診の必要性を分かってもらえていない保護者も一定数いる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		乳幼児健診を継続実施し、母親の困りごとや不安が相談できるような環境づくりを行っていく。 必要な親子には一時預かりや保育園等子育てサービスの紹介を行い関係機関と連携を図っていく。			
4	新生児訪問 対応割合	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		【設定根拠】
		実績値	97.5%							香南市母子保健事業計画書
	達成(評価) (C)	B								
	事業内容(D)	◆生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を保健師が産後早期に(生後28日未満)に訪問し、子どもの発達状況や母親の健康状態を確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ、乳児の健全な生育環境の確保に努める。								
	現状と課題(C)	地区担当保健師が出生した児を全数対象に訪問を実施。里帰り等で訪問時期が新生児期を過ぎてしまう方もいる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		産後早い時期に連絡・調整を行い、産後の困りごとや不安軽減等を行っていく。 家庭訪問できなかった児も来所やその後の健診、相談などで面接し未把握児がいないようにしている。			

5	育児教育相談利用者数(延)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	562人	650人	650人	650人	650人	650人		【設定根拠】 H26からの5年平均603人から 周知による増加を見込む
		実績値	723人							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	<p>◆教育相談を月1回、ほのぼの相談を月8回程度開催。 さまざまな悩みや不安を抱えている就学前保護者を対象に教育相談(子ども相談室)、小中学校保護者を対象にほのぼの相談を行っている。 ※指標の性質上、相談が多ければ良いというものではなく、相談窓口(手段)を広げ、その内容に対応できる環境づくりを目指している。 (H30実績内訳:こども相談79、ほのぼの来所165、ほのぼの電話155、子育て支援センター5ヵ所324件)</p>									
現状と課題(C)	過去の実績からも年度によって利用者数の変動が大きい、悩みはあるものの、相談窓口があることを知らない、あるいはよくわからないという保護者もいると考えられる。			今後に向けた具体的な取組(A)			教育相談を利用することへのハードルを下げるために、保育所や幼稚園、総合子育て支援センター「にこなん」等で保護者から相談を受けた場合、必要に応じて教育相談の紹介を行うとともに、施設職員を中心に、窓口を知らない方への周知も積極的に行っていく。また、にこなんでは、これまでの子育て相談に加えて、子ども発達相談など充実させ支援を継続する。			
★目標 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり										
6	地域子育て支援センター利用者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	9,000人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人		【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は7000人以上であるが、実態を考慮し増加を見込む
		実績値	8,436人							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	<p>◆総合子育て支援センター「にこなん」及び広場4ヶ所では、妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者等を対象に、育児相談や交流の場の提供、子育て関連情報の提供などの子育て支援を行っている。 ◆保健師との連携により、健診等で気になる親子への支援センター利用を促し、親子が孤立したりしないように、いつでも相談できる支援者の存在を知ってもらう。 ◆子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成。また、ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供していく。</p>									
現状と課題(C)	「にこなん」の開所により、病後児保育施設としての機能が高まったほか、児童と父親と一緒に利用するケースが増えるなど、使用者推移は順調に伸びているが、利用に至っていない保護者もいると考えられる。			今後に向けた具体的な取組(A)			就学前の保護者の子育てに対する不安感や悩みを軽減し、子育てに活かしていただけるよう、妊娠から出産、育児まで、関係機関と連携しながら切れ目のない子育て支援を目指す中で、にこなんを拠点とした相談体制の拡充や病後児保育などサービスを充実させることにより利用者の増加を目指す。			
7	保育所の一時預かり数(延)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	838人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人		【設定根拠】 第2期子ども・子育て支援事業計画の量の見込みは1200人前後であるが、実態を考慮し増加を見込む
		実績値	1,229人							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	<p>◆保護者の病気等により、家庭において一時的に保育することが困難になった、満1歳から就学前までの子どもの一時預かりを3保育所(赤岡、香我美おれんじ、夜須)で実施している。利用日数は週3日を限度とし、出産・入院中は限度日数について相談に応じる。</p>									
現状と課題(C)	令和元年度は継続して利用する子どももあり、目標値に達している。引き続き利用者の増加を目指していく。			今後に向けた具体的な取組(A)			保護者のニーズに応えられるよう、受け入れ体制を整えていく。			
8	市のHP(子育て情報サイト)へのアクセス数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	5,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回		【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は6000回以上であるが、実態を考慮し増加を見込む
		実績値	6,031回							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	<p>◆市ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供しているほか、子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成し啓発している。</p>									
現状と課題(C)	メルマガの配信内容に「エブロンだより」と「すこやか通信」を追加することで登録者数の増加につながったため、今後も関心の高い情報内容を提供していく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			多くの場面で今まで以上に啓発活動に努めるとともに、関連する部署と連携し内容の充実を図る。メルマガ配信内容の工夫を図るとともに、スマートフォンアプリ等の情報発信ツールの検討を図り、ユーザーにマッチした情報発信に取り組む。			

9	こうなんファミリーサポートセンター 会員数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は150人であるが、実態を考慮し年10人増
		目標値(P)	80人	90人	100人	110人	120人	130人		
		実績値	74人							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆子育て中の家庭を支援するため、子育ての援助をしてほしい会員(おねがい会員)と、子育ての応援ができる会員(まかせて会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。 ※R1実績86人(内訳:おねがい会員52人、まかせて会員33人、両方会員1人)を基に、R3目標100人(内訳:おねがい会員55人、まかせて会員45人)に設定。									
	現状と課題(C)	R1実績で、おねがい会員52人、まかせて33人、両方会員1人。共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、会員数は伸び悩んでいる。また、マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動にいたらない会員も多い。			今後に向けた具体的な取組(A)			社会福祉協議会と協働し、保護者や会員へのアンケート調査の実施及び研修などの取組を進める。令和2年4月より公共施設(にこにこルーム及びにこなん)で利用ができるようになったことを受け、利用者の感想を聞き取り今後の事業に反映していく。		

★目標 質の高い保育・教育の推進

10	本の読み聞かせ回数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画後期計画
		目標値(P)	100回	100回	100回	100回	100回	100回		
		実績値	102回							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	◆読書ボランティア団体の支援も受けながら、積極的な読み聞かせを実施している。また、イベント時には大型スクリーンや音響設備を使っての読み聞かせを行うことで、参加者の興味をひく工夫を行っている。 野市図書館:週1回、香我美図書館:週1回、夜須図書館:未実施									
	現状と課題(C)	年間100回の実施回数を目標とし、今後も維持していく。参加者が減少傾向なので読み聞かせ以外の新たな事業も検討する必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			(内容の充実) ①広報掲載、チラシ作成・配布強化 ②定期イベント実施時の告知強化(新規団体の育成) 読書会サークルを立ち上げに向けて団体と協議中		
11	朝食摂取割合(3歳児)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	【設定根拠】 食育推進計画
		目標値(P)	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%		
		実績値	93.9%							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆保育所・幼稚園では、食べる楽しさや食べ物のおいしさを知り、生活リズムの基礎や正しい食習慣を身につけ、食を楽しむ心を育てるような事業を実施し、子育て支援センターでは、食育講演会や試食等を通じて食を楽しむ心を育んでいる。 ◆家庭や保育所、幼稚園と連携した食育の取組み、食べる楽しさや食への関心を高め、食を通じた体験などで食を楽しむ心を育てることの大切さを啓発する。また、幼児期からの望ましい生活習慣の改善に向け子どもの保護者向けに乳幼児健診等でのアドバイスを行っている。 ◆幼児健診時のアンケート調査で朝食を毎日食べている子ども(3歳児)の割合を算出。									
	現状と課題(C)	令和元年度は朝食摂取率が前年度より高くなっているが、目標には達していない。朝食を毎日食べていない子どもは一定数いる。保護者の食生活の影響をうけるので保護者への啓発が必要。			今後に向けた具体的な取組(A)			保育所・幼稚園での食育事業は、保護者と一緒に実施し、保護者向けにも啓発を行う。また、健診時の栄養指導では、分かりやすい媒体を作成して指導を行う。		

★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

12	ひとり親家庭医療費助成利用者数【就学期No.25同指標】	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	【設定根拠】
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-		
		実績値	677人							
		達成(評価) (C)	*							
事業内容(D)	◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ショートステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学金貸付(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。									
	現状と課題(C)				今後に向けた具体的な取組(A)			窓口及び広報誌での周知活動に取り組む。R2.4~児童扶養手当が市民保険課に移管されることで、申請窓口・問合せ先が統一された。		

人生の期別	就学期(小学校から高校)
基本方針	豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。 また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり

13	スポーツ少年団の団体数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	28団体	29団体	29団体	29団体	30団体	30団体		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画	
		実績値	26団体								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。										
	現状と課題(C)	少子化が進む中、数あるスポーツ種目をほぼ網羅しておりニーズは満たされている。				今後に向けた 具体的な取組(A)		レスリングなど新たな競技種目での新規設立などを進めるとともに、団体が継続して活動できる環境づくりとして体育館など活動場所や指導者などの確保、又、施設整備の改修を行う。			
14	スポーツ少年団の会員数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	610人	610人	610人	610人	610人	610人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画	
		実績値	532人								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。										
	現状と課題(C)	少子化や余暇活動の多様化等で会員数の減少が懸念される。				今後に向けた 具体的な取組(A)		関係団体等の広報活動やスポーツ推進委員等の協力を得て、団体のPRを行っていく。			
15	夏休み子ども教室の開催 (参加人数)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	-	400人	400人	400人	400人	400人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R3年度末目標数値 (310人)	
		実績値	381人								
		達成(評価) (C)	-								
事業内容(D)	◆学校以外での子どもの学習・体験活動の機会の創出・拡充のため各公民館で主に小中学生対象の夏休み教室を開催している。										
	現状と課題(C)	学年・男女に関係なく参加できることを念頭に置いて開催(全30教室程度)しているが、公民館がない開催地でない赤岡・吉川からの参加者が非常に少ない。				今後に向けた 具体的な取組(A)		各学校へのPRを強化し更なる参加を促す。また、市民館等での出張教室の手法を考案する。			

★目標 子ども・親・家庭に優しい環境づくり

16	児童クラブの利用者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	子ども課	
		目標値(P)	385人	385人	450人	450人	450人	450人		【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 のR3年度末目標数値は385 人であるが、R3から2カ所増え ることを見込む。	
		実績値	370人								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	◆児童クラブを6小学校10カ所を実施し、共働き家庭等の児童(1～6年生)を放課後から18時(一部18時30分)まで預かっている。 ※R2.4.1現在の入会児童は、野市小140人、佐古小78人、野市東小76人、赤岡小7人、香我美小58人、夜須小39人。(待機児童は、野市小38人、佐古小8人、香我美小14人)										
	現状と課題(C)	野市小学校及び香我美小学校では定員を超える受入を行っているにも関わらず、待機児童が発生しているため、令和2年度に新たな施設整備を予定。				今後に向けた 具体的な取組(A)		令和2年度に野市小学校及び香我美小学校での新たな施設の建築工事を行い、令和3年度からの運用を開始することで、待機児童の解消を図る。			

★目標 親子の心と体の健康づくり

17	朝食摂取割合(小学生)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 食育推進計画(健康対策課)
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%		
		実績値	95.0%							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆香南市全ての小学5年生を対象にした朝食づくり料理教室を開催し、朝食の効果や大切さなどについて学ぶことにより、朝食摂取や内容の改善に向けて意識の向上を図る。									
	現状と課題(C)	小学校、学校教育課、健康対策課、食生活改善推進協議会と連携し、小学校5年生朝食づくり事業を実施。栄養バランスの取れた朝食を自ら考え摂取する実践的な児童の育成及び児童を通じて家庭にどのような方法で啓発していくかが課題である。				今後に向けた 具体的な取組(A)			朝食摂取の改善を図るため、副読本の活用や保健だより・学校だより等の通信を活用して、家庭へ啓発を図る。給食指導を通して、栄養教諭から児童に朝食の大切さについて伝える。	

★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり

18	将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国学力学習状況調査 小学6年生が対象
		目標値(P)	87.0%	90.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上		
		実績値	98.4%							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力を行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。									
	現状と課題(C)	R1の目標値は87.5%で、実績は88.8%であった。これまでの取り組みの積み上げから目標値を達成しており、キャリア教育の成果が表れていると思われる。				今後に向けた 具体的な取組(A)			基本的な生活習慣の確立・学力の向上・社会性の育成など、キャリア教育のねらいに沿った取組を今後も推進する。 地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。	
19	将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学校)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国学力学習状況調査 中学3年生が対象
		目標値(P)	75.5%	77.0%以上	77.0%以上	77.0%以上	78.0%以上	78.0%以上		
		実績値	74.7%							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力を行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。									
	現状と課題(C)	R1の目標値は76.5%で、実績は76.8%であった。小学校より積み上げてきている取組が成果として表れてきており、職場体験学習等を通して自己の将来や社会に関する意識の向上につながっていると考えられる。				今後に向けた 具体的な取組(A)			社会の一員であること意識や社会貢献への意識を高めることを目指し、職場体験学習や「総合的な学習の時間」の更なる充実を推進する。 地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。	
20	地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画
		目標値(P)	-	100日以上	110日以上	120日以上	135日以上	150日以上		
		実績値	-							
		達成(評価) (C)	*							
事業内容(D)	◆PTAや地域学校協働本部事業などで、保護者や地域の方とあいさつ運動や交通指導などに取り組むとともに、県のスクールガードリーダー活用事業でスクールガードリーダーの見守り活動を実施する。 ◆青色回転灯パトロールによる登下校時の見守り活動を行う。 ◆学校支援活動を年間活動累計100日以上を目指し、充実した学校支援活動を各学校に定着させる。									
	現状と課題(C)	各学校とも、地域の人材を積極的に活用している。地域学校協働本部事業を実施している校数は、目標値を達成した。 今後も、地域人材を活用するシステムを学校づくりに活かす。				今後に向けた 具体的な取組(A)			地域学校協働本部によるボランティア活動を、子ども見守り体制に活かす。 地域ボランティアを募集し、住民による学習支援・部活動支援・見守り活動・地域活動への支援を呼び掛ける。 年間活動累計1校平均、のべ150日以上を目指す。	



★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		21	不登校児童生徒の発生率 (小学校)	目標値(P)	0.8%以下	0.6%以下	0.5%以下	0.5%以下			0.5%以下
実績値	0.62%										
達成(評価) (C)	*										
事業内容(D)	<p>◆家庭における児童療育の技術に関する事及び児童にかかわる家庭の人間関係に関する事、その他家庭児童の福祉に関する事との相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている) ◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。</p>										
	現状と課題(C)	不登校児童を無くすという課題は、解決には至っていない。継続的な取組が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			香南市全ての小学校で「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施し、新規の不登校児童が出ないよう未然防止に取り組む。 SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、不登校児童発生率0.4%以下を目指す。			
22	不登校児童生徒の発生率 (中学校)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	4.5%以下	4.0%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下			【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画
		実績値	5.41%								
		達成(評価) (C)	*								
事業内容(D)	<p>◆家庭における児童療育の技術に関する事及び児童にかかわる家庭の人間関係に関する事、その他家庭児童の福祉に関する事との相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている) ◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。</p>										
	現状と課題(C)	不登校生徒を無くすという課題は、解決には至っていない。継続的な取組が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			全中学校で「魅力ある学校づくり調査研究事業」を活用し、教員の同僚性・関係機関の連携等をいかした取組を推進する。 SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、不登校生徒の発生率3.3%以下を目指す。			
23	スポーツ大会参加者数 (小中高校生対象)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	-	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人			【設定根拠】 市長杯等大会(7大会)の実績から見込む。
		実績値	345人								
		達成(評価) (C)	-								
事業内容(D)	<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。 (生涯スポーツのきっかけとなる小中高校生を対象としたスポーツ大会の開催及び支援) ※野球、サッカー(小中)の3大会参加者数は、H26:1050人、H27:1047人、H28:1014人、H29:1110人、H30:183人(サッカー大会荒天中止)対象大会:サッカー大会(小/中)、野球大会(小・中)、相撲大会(3種類)</p>										
	現状と課題(C)	野球、サッカー、相撲等の大会を開催、または支援するほか、スポーツ振興委託事業として各種教室の開催を予定どおり実施できている。			今後に向けた具体的な取組(A)			現行大会について関係団体等を通じて周知を図り、参加者数の安定を目指しつつ、運営団体の育成を図り各種スポーツの楽しさを共感できる指導に取り組む。			
24	こどもよさこい参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	100人	100人	100人	100人	100人	100人			【設定根拠】 よさこい祭り参加実行委員会 会則
		実績値	98人								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	<p>◆高知県の一大イベントである「よさこい祭り」に参加することで、子どもたちに知識や経験を培う学習機会を持たすことを目的とし、保護者や地域間の繋がりの強化を図ることが目的であり、かつ他の小学校の子どもたちと一緒にチームを作り上げることで日頃感じない感覚や共存・共感の育成を図ることを大きな目標として実施している。</p>										
	現状と課題(C)	参加者が減少しつつあるが、学校やPTAへの呼びかけをより一層行い参加者を増やしていきたい。スタッフについては、近年、市職員から各団体や保護者へ移行している状態である。今後は、役割分担をより明確にし今以上のスタッフを確保したい。			今後に向けた具体的な取組(A)			保護者や地域団体にスタッフとしての協力を呼びかけ、保護者や地域の団体が構成する組織に変更していく。			

25	ひとり親家庭医療費 助成利用者数 【幼年期No.12と同指標】	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	市民保険課	
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-			【設定根拠】
		実績値	677人								
		達成(評価) (C)	*								
事業内容(D)	<p>◆ひとり親家庭医療費助成事業：配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考)</p> <p>◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】</p> <p>◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】</p> <p>◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給：DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付</p> <p>◆子育て短期ショートステイ：子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】</p> <p>◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学資金貸与(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。</p>										
現状と課題(C)				今後に向けた 具体的な取組(A)			窓口及び広報誌での周知活動に取り組む。 R2.4～児童扶養手当が市民保険課に移管されること で、申請窓口・問合せ先が統一された。				
26	児童生徒の肥満傾向率(小 学5年)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	11.5%以下	11%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下			【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下
		実績値	11.0%								
		達成(評価) (C)	A								
事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 体育の授業を改善する。【学】 運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
現状と課題(C)	目標値には到達していない。特定の原因を挙げるのは困難であるが、運動や食事など様々な要因が考えられる。食生活の改善や運動習慣の確立に向けた見直しが必要である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。 運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。 日常生活の中に体を動かす機会を設ける。 香南市教育振興基本計画後期計画の目標数値に合わせ、10.0%以下を目指す。				
27	児童生徒の肥満傾向率 (中学2年)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	9.5%以下	11.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下			【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下
		実績値	11.6%								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ・スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 ・基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 ・体育の授業を改善する。【学】 ・運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
現状と課題(C)	H30.R1とも実績値は11%強であり、実態に応じた目標数値として見直しが必要である。 特定の原因を挙げるのは困難であるが、運動や食事など様々な要因が考えられる。食生活の改善や運動習慣の確立に向けた見直しが必要である。 学校関係者とも協議し、保健体育科での教科指導に加え、部活動を含めた生活習慣、運動習慣の確立を目指す。			今後に向けた 具体的な取組(A)			生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。 日常生活の中に体を動かす機会を設ける。 香南市教育振興基本計画後期計画の目標数値に合わせ、10.0%以下を目指す。				

人生の期別	成年期(就業から子育て期)
基本方針	誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを生き育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		健康診査受診者数 (20～39歳)	目標値(P)	110人	115人	115人	115人	115人	115人	
	実績値	111人								
	達成(評価) (C)	A								
28	事業内容(D)	◆健康診査として集団健診で無料で実施中								
	現状と課題(C)	若い世代にも健診を受診することの意義が理解されてきつつある。			今後に向けた具体的な取組(A)			若い世代から自分の健診状態を知り、健康への関心を高めることで、生活習慣の見直し及び生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげていく。		
		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		社会参加のための外出 支援サービス利用者数 【熟年期No.54と同指標】	目標値(P)	-	23人	23人	23人	23人	23人	
	実績値	6人								
	達成(評価) (C)	*								
29	事業内容(D)	◆身体障害者を移送車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1～3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するもののうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う								
	現状と課題(C)	移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			令和3年度施行の第6期障害福祉計画を本年度策定し、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営に努める。		
		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		成人歯科健診受診者数 (30歳)	目標値(P)	-	25人	25人	25人	25人	25人	
	実績値	-								
	達成(評価) (C)	-								
30	事業内容(D)	◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢30歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。								
	現状と課題(C)	R元年度からの事業であり、組織や行事の機会を捉えてPRを行った。			今後に向けた具体的な取組(A)			新規事業であるため、周知を図っていく。また、健診をきっかけに定期健診に繋がるような活動を行う。		

★目標 出会い・新しい家庭づくり支援の推進

		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課	
		31	出会うの場の開催回数	目標値(P)	3回	3回	3回	4回	4回	4回	
実績値	2回										
達成(評価) (C)	B										
事業内容(D)	<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあい にこ家」が継続して活動中。</p>										
	現状と課題(C)	市主催の事業1回と「よりあいにこ家」による結婚相談窓口開設での補助制度利用1回が継続実施中。「よりあいにこ家」の活動で成婚者も出ており、少しずつ結果も出ている。しかし、H29以降は補助制度のうちイベント型事業での活用がない状況。補助制度利用実績のある団体への聞き取りでは、イベント開催について、募集～運営面で特に負担に感じる部分があるとのこと。イベントノウハウの共有をはじめサポート体制を整え、補助金の周知や活用に向け市内団体と連携を図っていく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			広報等による周知の強化や、市内の各団体に対し「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進するとともに、応援団登録団体へイベント開催への働きかけを行う。その中には、イベント開催について様々な面でサポートを行うことも説明していき、行政と各団体をはじめ地域全体で出会うの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。			
32	出会うの場の参加人数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課	
		目標値(P)	60人	100人	100人	120人	120人	120人			
		実績値	141人								
		達成(評価) (C)	A								
	事業内容(D)	<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあいにこ家」が継続して活動中。 目標内訳: 市主催事業20名、相談窓口型事業60名、イベント型事業1回20名</p>									
	現状と課題(C)	セミナー、相談窓口と事業が実施されているが、今後はイベント型事業での参加者を増やすことで様々な未婚男女のニーズに応えられるようにすることが課題。また、よりあいにこ家の相談対応者数が減っていることに加え、補助金要綱の規定により事業継続に負担感が増している現状もある。継続して活動を行ってもらえるようにサポート体制を整え、極力負担が少ない中で事業実施できるよう補助金要綱の改正も検討が必要。			今後に向けた具体的な取組(A)			市主催事業としては結婚を望む独身男女やその家族らを対象に、婚活のためのスキルアップセミナーを実施予定。(内容は年度毎に検討。)また、「よりあいにこ家」による相談窓口型事業は継続中。補助金の活用を促し、申請団体には計画段階からサポートしていくことで市内団体との連携を図り、イベント数の増加やそれに伴う参加者数の増加に繋げていく。R2年度に補助金要綱の改正を行い、より利用しやすい制度にしていく。			
33	結婚新生活支援事業 補助金活用件数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課	
		目標値(P)	10件	10件	10件	10件	10件	10件			
		実績値	11件								
		達成(評価) (C)	A								
	事業内容(D)	<p>◆下記条件全てに該当する新婚世帯を対象に、新生活に要した経費(住宅の購入経費、賃貸アパート契約時の諸経費、引っ越し経費等)に対して上限30万円を経済的に補助する。 新婚世帯条件 ①婚姻日における夫婦2人の年齢が34歳以下 ②直近の世帯所得合計金額が340万円未満 ③その他条件あり</p>									
	現状と課題(C)	広報への掲載や、市民保険課窓口でのチラシ配布に加え補助対象要件(住所、年齢等)を満たしている方のうち、同意が得られた方には個別案内(文書送付)を行ってきたが要件に当てはまらない方も多く、個別案内には限りがあるため、より広範囲での周知や、事業の定着を図る必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			婚姻届を受理する市民保険課と連携し周知を図るとともに、婚姻届提出者を実施中のアンケート回答者のうち同意が得られた方に個別案内を行っていく。また、民間事業者を通じた周知の強化として、これまでの市内の不動産業者に加え、引っ越し業者やブライダル事業者等も含めた広範囲での事業周知に努めていく。			

★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進(妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進)

34	パパママ教室参加率 【幼年期No.1と同指標】	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%		【設定根拠】 子ども・子育て支援計画
		実績値	20.8%							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	◆年に3回、妊娠中の生活、出産について、呼吸法、妊婦体操他、妊娠中と授乳期の食生活、妊娠中の歯の健康などを開催し、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。									
現状と課題(C)	・1回の内容が沢山になっており夫婦や妊婦同士での交流の時間が少ない。 ・沐浴体験や呼吸法、夫の疑似体験等の実技の内容に興味がある方が多い。 ・産後起こりうる心身の変化や対処について伝える機会が少ない			今後に向けた具体的な取組(A)			休日開催を入れ回数を増やし妊婦だけではなく夫等多くの方に参加してもらえる様に夫への健康教育等内容を変更し実施していく。			

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援

35	生涯スポーツ教室の参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	-	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	3,818人								
		達成(評価) (C)	-								
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。 (生涯スポーツの推進のため、こうなんスポーツクラブへの支援を行い、各種教室を開催。)										
現状と課題(C)	生涯スポーツ教室として継続実施できているが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、又、ニュースポーツも取り入れて、毎年見直しを行っている。			今後に向けた具体的な取組(A)			継続実施するが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、又、ニュースポーツ講習会で学んだ事も取り入れて、毎年見直しを行う。				
36	市長杯・教育長杯の参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	-	800人	800人	800人	800人	800人	800人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R4年度末目標数値 (590人)
		実績値	769人								
		達成(評価) (C)	-								
事業内容(D)	◆参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できると認められる各種スポーツにおいて、参加者数など一定の大会規模を満たす大会に市長杯を付与することで、スポーツへの関心、参加者の増加、技能の向上などを図っている。										
現状と課題(C)	運営者や競技者の高齢化により大会の維持が難しくなっている競技種目もある。また、参加者数は年度により変動があるが、競技人口はいるので、周知徹底し参加を促していく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			ホームページへの掲載・ロコミ市内放送などでの勧誘を行う。				
37	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	66人	75人	78人	80人	85人	85人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R4年度末目標数値 (75人)	
		実績値	79人								
		達成(評価) (C)	A								
事業内容(D)	◆スポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」を増やしていくことで、技能の向上を図っていく。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。										
現状と課題(C)	各団体に2名以上のスポーツ少年団認定員が必要で、団員数が多い団体へは更に指導できる体制を構築していくため、認定員の資格取得を促す必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			各団体へ県スポーツ少年団からの認定講習会情報日程を流し講習会への参加を呼びかけ、取得を促す。				
38	市美術展への出品者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	230人	230人	230人	230人	230人	230人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画	
		実績値	210人								
		達成(評価) (C)	B								
事業内容(D)	◆文化協会、各種サークルの活動支援										
現状と課題(C)	出品者の高齢化(平均74歳)に伴い、年々減少傾向でありR1実績は、177人まで落ち込んだ。県内の公募展も全体的に減少し、県女流展も廃止となっている。市展自体の見直しを考える必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			目標は、現状維持 今以上に、高校生の参加を促し、新しい部門「グラフィック」「漫画」分門の追加を検討していく。				

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

39	DV相談窓口数 【熟年期No53と同指標】	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課 【設定根拠】	
		目標値(P)	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所			
		実績値	5								
		達成(評価) (C)	*								
事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。 現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館										
現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたくない相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていく必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)			相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口を香我美や野市などに拡大していくことも関係各課と協議し検討する必要がある。				
40	障害者虐待相談 対応・支援	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所 【設定根拠】	
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-			
		実績値	1人								
		達成(評価) (C)	*								
事業内容(D)	◆障害者虐待の相談や通報などの受付、虐待の早期発見への取り組みとして、障害者虐待に関する窓口「香南市障害者虐待防止センター」を設置。(福祉事務所内) 障害者虐待を受けた方への迅速かつ適切な保護、そして障害者の養護者に対する支援を行い、障害者の権利侵害の防止に努める。										
現状と課題(C)	香南市障害者虐待防止センターの周知と障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報・啓発の充実を図る。			今後に向けた 具体的な取組(A)			障害者や障害児の虐待防止及びその早期発見・対応のため、虐待防止ネットワーク委員会等で関係機関との連絡調整を行い、支援体制の強化を図っていく。				

★目標 移住者ウェルカム支援の推進

41	移住促進ホームページ のアクセス回数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課 【設定根拠】 移住促進ホームページ のアクセス回数	
		目標値(P)	5,000回	68,000回	70,000回	72,000回	74,000回	75,000回			
		実績値	67,226回								
		達成(評価) (C)	A								
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 市の情報発信及び各課と連携した移住関連情報提供の強化を図る。										
現状と課題(C)	R1年度は、移住専門HP「香南住む〜ず」へのアクセス数が前年度より減少。特に「住む」の空き家バンクを閲覧している方が多い中、登録件数があまり伸びなかったことが大きな要因の一つと考えられる。			今後に向けた 具体的な取組(A)			既に登録されている情報についても、掲載内容(写真等)を変更するなど、情報発信内容・方法を工夫していく。また、SNS(インスタグラム、Facebook)も積極的に活用していくとともに、他課とも密に連携をとることで、就職に関する情報等、多方面に渡る情報発信ができるよう努めていく。				
42	県外からの移住者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課 【設定根拠】 人口ビジョン	
		目標値(P)	10組	32組	34組	36組	38組	40組			
		実績値	29組								
		達成(評価) (C)	A								
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住から定住、そして地域の活性化につなげるため、市移住相談窓口での相談業務のほか、高知県等が主催する県外移住相談会への参加、近隣市町村(高知市・香美市・南国市)との広域連携による県外相談会、移住ツアーを実施する。										
現状と課題(C)	R1年度は、相談窓口や高知県等が主催する移住相談会での相談件数が前年度より減少しており、把握できた移住者数も減。移住・定住施策の効果的なPR、本気度の高い移住検討者の把握やアプローチ方法の検討が課題である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			高知県等が主催する県外移住相談会への参加、高知・南国・香美・香南での広域連携事業のほか、関係人口や交流人口の拡大を図る事業展開により将来的な移住を掘り起こす。移住者交流会を行い、移住者からの意見などを集約し、移住・定住促進につなげる。				
43	空き家バンク新規登録数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課 【設定根拠】 実績ベース+ 登録物件数推移	
		目標値(P)	-	12件	12件	12件	12件	12件			
		実績値	14件								
		達成(評価) (C)	-								
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住者を受け入れるための市内空き家の活用を促進し、移住から定住、そして地域の活性化につなげる。										
現状と課題(C)	R1年度は、新規登録件数が前年度より減少。活用可能な空き家調査を、いかに効率よく進めていくのが課題。また、登録物件については、改修が必要なものがほとんどであるため、移住希望者とのスムーズなマッチングにつながらないことが多い。			今後に向けた 具体的な取組(A)			地域と連携した空き家の掘り起こしに継続して取り組むとともに、市広報等を通して、空き家バンク及び補助金制度の周知にも努めていく。				

44	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率 (市管理)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	78.0%	80.0%	82.0%	84.0%	86.0%		【設定根拠】 市の実績ベース (参考)県内各市町村(25市町村)が設置したお試し滞在住宅のH30平均稼働率:約38.0%
		実績値	78.6%							
		達成(評価)(C)	-							
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住希望者向けにお試し滞在住宅を設置し、香南市の風土や気候・暮らしを体験してもらうことで、移住への不安を解消する短期滞在施設としての利用促進に取り組む。									
現状と課題(C)	平成29年12月より香我美町西川地区の「お試し滞在住宅」の供用を開始。移住希望者に利用(最長90日)してもらうことで、本市への移住体験施設としての役割を果たしている。 低料金の宿泊施設として利用を希望する相談者もいるため、事前相談等での見極めが課題。また、受入体制に関しては地域の方の協力も重要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			一人でも多くの移住検討者に利用してもらうために、県外移住相談会等でしっかりと移住相談を受けたいと、香南暮らしの体験施設をPRし利用促進を図る。			
45	地域おこし協力隊 任期満了後の定住者数 (累計)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	2人	7人	11人	11人	13人		【設定根拠】 任期満了予定の 隊員数100%
		実績値	-							
		達成(評価)(C)	-							
事業内容(D)	◆農業担い手候補生や移住相談員、集落支援センターの支援等で活動できる人材を積極的に導入し、地域の住民や行政とともに集落の維持や地域の活性化に係る活動を推進し、課題の解決及び事業化に向けた取組を進める。									
現状と課題(C)	R1年度は地域おこし協力隊11名が活動中。地域との交流を深め多方面で活躍しており、地域の活性化につながっている。 R2年度から任期満了を迎える隊員が出てくる。  課題:任期終了後、定着・定住のためには各隊員が就業先を確保することが必要。			今後に向けた具体的な取組(A)			任期満了後も地域で活躍し、定着・定住してもらうための支援を行う。 ・国、県、市が連携した起業・就業支援 ・空き家等市内の不動産物件の情報提供			

人生の期別	熟年期(人生が充実する時)
基本方針	にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		46	特定健診受診率 (40～64歳)	目標値(P)	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	23.6%									
達成(評価) (C)	B									
事業内容(D)	◆特定健診・集団健診と医療機関での個別健診を実施。 ・国保被保険者の40歳から74歳を対象に無料で実施。 ・人間ドック費用の助成有。 ・がん検診とのセット健診、休日健診も実施。 ・肝炎検査も同時実施(集団検診で検査未実施者に対して無料で実施)									
	現状と課題(C)	目標値を国の目標値にしているが、大きな隔りがある。受診促進にむけ、セット健診や休日健診の実施により利便性の向上を図る。			今後に向けた 具体的な取組(A)		・健診受診により身体の健康状態を知ることで、内臓脂肪の要因となる生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげる。 ・地区組織による健診の受診勧奨。健康パスポートを活用した受診勧奨。			
47	メタボリックシンドローム 該当者割合 (男性) 40～74歳	目標値(P)	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下		【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	31.4%							
		達成(評価) (C)	B							
		事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施							
	現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。生活習慣をみると、就寝前の夕食、飲酒量や間食の頻度が高い状況であった。			今後に向けた 具体的な取組(A)		・特定健診の受診勧奨及びメタボリックシンドローム該当者への生活習慣改善に向けた保健指導の実施(訪問、各種教室関係)。			
48	メタボリックシンドローム 該当者割合 (女性) 40～74歳	目標値(P)	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下		【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	15.5%							
		達成(評価) (C)	B							
		事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施							
	現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。生活習慣をみると、就寝前の夕食、飲酒量や間食の頻度が高い状況であった。			今後に向けた 具体的な取組(A)		・特定健診の受診勧奨及びメタボリックシンドローム該当者への生活習慣改善に向けた保健指導の実施(訪問、各種教室関係)。			
49	睡眠で休養がとれている割合 40～74歳	目標値(P)	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%		【設定根拠】 自殺対策計画
		実績値	71.0%							
		達成(評価) (C)	B							
		事業内容(D)	◆特定健診の問診結果から把握 ◆住民一人ひとりが自殺の要因となることと体の健康や自殺に対する正しい知識を持ち、自殺予防のための大切な行動、「気づき」「つなぎ」「見守り」ができるように、民生委員定例会で情報交換等を実施するとともに、健診会場やイベントでの広報等普及啓発を図る。							
	現状と課題(C)	睡眠で休養がとれている割合は、県や全国と比較すると低い状況にある。民生児童委員を対象にしたゲートキーパー研修や職員研修を実施した。			今後に向けた 具体的な取組(A)		平成29年度に自殺対策計画を立案し、計画に基づいて事業を実施している。市民向けのイベントやセミナー、組織や団体に対する研修会等の機会を利用し、市民に啓発していく。			



50	成人歯科健診受診者数 (40・50・60歳)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	95人	95人	95人	95人	95人		【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	-							
		達成(評価) (C)	-							
事業内容(D)	◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢40・50・60歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。									
現状と課題(C)	R元年度からの事業であり、組織や行事の機会を捉えてPRを行った。			今後に向けた具体的な取組(A)			新規事業であるため、周知を図っていく。また、健診をきっかけに定期健診に繋がるような活動を行う。			

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援

51	ボランティア登録者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	100人	125人	125人	130人	130人	135人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	115人							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	◆本の読み聞かせグループの活動支援をしている。 ◆ボランティア(図書館クラブ)の保育所・幼稚園への読み聞かせ活動を支援している。 ◆活動補助及び読書ボランティア講座を開催し後継者の育成を図る。【市単独】 ◆生涯学習人材バンク登録 様々な分野において豊富な経験や資格を持っている市民や団体の情報を「人材バンク」に登録し、市民の生涯学習活動や学校活動における教育活動等を支援するために、指導者やボランティアとして紹介する制度。									
現状と課題(C)	R1年度末現在 人材バンク 28人 読書ボランティア 93人 関係団体への制度やボランティアの趣旨説明を行い、会員の増員は図られているが、住民からの事業依頼が少ない。			今後に向けた具体的な取組(A)			依頼内容等の住民向けの広報活動(ボランティアの内容などを含め広報やHPでの周知)をはじめ、この制度や活動内容の周知を継続して実施していく。			

52	地域活性化総合補助金 活用自治会数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	90自治会	93自治会	95自治会	95自治会	95自治会		【設定根拠】 95自治会で100%結成
		実績値	85自治会							
		達成(評価) (C)	-							
事業内容(D)	◆地域活性化総合補助金 住民が将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、住民自らが企画し、自主的に取り組むまちづくり活動及び市民と行政が協働で地域の課題解決や個性豊かで活力のあるまちづくりを推進するため交付する。 対象:まちづくり自治会、協議会、(自主防災会、健康を守る会) 補助限度額:町内会加入世帯数×2,000円(自治会)、×4,000円(協議会)									
現状と課題(C)	地域の活動を支援する補助金として自治会、協議会活動をはじめ、防災活動への活用も図られている。自治会未設立の地域があることや、「設立済みだが補助金は未申請」の自治会が2団体あることが課題。			今後に向けた具体的な取組(A)			自治会未設立地域の早期解消を図るため、地区担当職員と共に住民説明会等を継続して行う。補助金未申請の団体については活用を案内する。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

		年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課
		53	DV相談窓口数 【成年期No.39と同指標】	目標値(P)	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所
実績値	5									
達成(評価) (C)	*									
事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。 現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館									
	現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたくない相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていける必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)		相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口を香我美や野市などに拡大していくことも関係各課と協議し検討する必要がある。			
54	社会参加のための外出 支援サービス利用者数 【成年期No.29と同指標】	目標値(P)	-	23人	23人	23人	23人	23人	【設定根拠】	福祉事務所
		実績値	6人							
		達成(評価) (C)	*							
		事業内容(D)	◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1～3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するものうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う							
	現状と課題(C)	移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)		令和3年度施行の第6期障害福祉計画を本年度策定し、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営に努める。			
55	福祉医療費助成事業 利用者数	目標値(P)	-	-	-	-	-	-	【設定根拠】	福祉事務所
		実績値	750人							
		達成(評価) (C)	*							
		事業内容(D)	◆保険給付対象医療費の自己負担額の全額助成。(身体障害者手帳1～3級又は療育手帳を取得した人の健康保険適用分の自己負担金を助成)							
	現状と課題(C)	福祉医療費助成の対象者は手帳取得や所得要件が関係するため、対象者の把握は一律には難しいが、医療機関や窓口にて制度の紹介や利用支援を行い、必要な医療を受けられる体制を継続し整える必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)		中度の心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図る中で事業の普及啓発を継続する。			

人生の期別	高齢期(第二の人生のスタート)
基本方針	健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進										
56	特定健診受診率 (65歳～74歳)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
	実績値	35.4%								
	達成(評価) (C)	B								
	事業内容(D)	◆健診: 集団健診と医療機関での個別健診(75歳以上は健康診査として実施/無料、人間ドック費用の助成)								
	現状と課題(C)	他の年代と比べ60代からは健診受診率は高い傾向にあるが、目標値には届いていない。セット健診や休日健診の実施により利便性の向上を図る。			今後に向けた 具体的な取組(A)		・健診受診により身体の健康状態を知ることで、内臓脂肪の要因となる生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげる。 ・地区組織による健診の受診勧奨。 ・健康パスポートを活用した受診勧奨。			
57	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	250人	150人	160人	170人	170人	170人		【設定根拠】 高齢者福祉計画
	実績値	86人								
	達成(評価) (C)	C								
	事業内容(D)	◆①お通達教室: 介護予防メニュー(運動・栄養・口腔・認知症予防・閉じこもり予防等)を組み合わせた複合的プログラムを市内4会場で高齢者に提供する。歯科衛生士による口腔についての指導を年に1回、食生活改善推進員による指導を各会場各曜日1回実施する。 ②いきいきクラブ: 食生活改善推進員による口腔機能向上教室を開催する。(年間3～6地区) 平成26年度(夜須2地区・吉川2地区)、平成27年度(香我美3地区・脳の健康教室)、平成28年度(香我美5地区)、平成29年度(野市3地区)、平成30年度(野市6地区)、平成31年度(野市3地区) ③自主運動グループ大会で介護予防メニューを提供し、口腔機能の向上について参加者が学ぶ。(令和2年～)								
	現状と課題(C)	口腔機能向上教室は食生活改善推進員による市内全域での実施を目標にH23年度より旧町ごとに順次開催。食生活改善推進員の活動が負担なく継続して実施できるための支援体制が必要。			今後に向けた 具体的な取組(A)		自主運動グループ大会で、口腔機能向上のメニューを取り入れ広く啓発していく。			
58	軽スポーツの参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人		【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
	実績値	-								
	達成(評価) (C)	-								
	事業内容(D)	◆激しい運動ができない世代に健康増進や交流を目的とする軽スポーツを推進する。 ◆子どもから高齢者まで誰でも参加できる教室を香南スポーツクラブへ委託して開催し、市民に対し軽スポーツを推進する。(ポッチャ・屋内ストレッチ・スポーツ吹き矢等)								
	現状と課題(C)	現状は、ストレッチ教室やスポーツ吹き教室を実施。高齢者の生きがいや健康増進の一環として、誰もがができるスポーツ教室を提案し、スポーツが苦手な方も、多くの仲間とのふれあいや今以上に笑顔ができる居場所を創っていく。			今後に向けた 具体的な取組(A)		高齢者向けの軽スポーツをこうなんスポーツクラブやレクリエーション協会等と連携しながら、教室(スポーツ)を検討し健康増進に推進する。また、高齢者と子どもたちが一緒にいける教室(スポーツ)も検討して行く。			
59	成人歯科健診受診者数 (70歳)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	60人	60人	60人	60人	60人		【設定根拠】 健康増進計画
	実績値	-								
	達成(評価) (C)	-								
	事業内容(D)	◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢70歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。								
	現状と課題(C)	R元年度からの事業であり、組織や行事の機会を捉えてPRを行った。			今後に向けた 具体的な取組(A)		新規事業であるため、周知を図っていく。また、健診をきっかけに定期健診に繋がるような活動を行う。			

★目標 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進

60	風揚げ・交流事業 参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	1,200人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	【設定根拠】 生涯学習推進計画
		実績値	1,300人							
		達成(評価) (C)	A							
事業内容(D)	◆青少年育成事業として三世代交流の風揚げ大会と独自事業を年2回開催している。 ◆地域密着型の三世代交流により、地域活性化を推進する。									
現状と課題(C)	就学前児童から小学生まで多くの子供と保護者の参加があり、屋外での交流の場として続けていきたい。会場、駐車場のキャパとしては元年度の1,300人が限界。			今後に向けた 具体的な取組(A)			同じ内容で行っているのに飽きられる恐れがある。しかしながら風揚げという伝統の遊びを変えることは出来ないため、サイドメニューの企画を講じたい。また、駐車場の確保が急務。			
61	町民運動会参加団体数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	【設定根拠】 体育協会の事業計画	
		実績値	38団体							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆各町において自治会等への参加を促し、町民運動会を開催している。 ◆地域密着型の三世代交流により、地域活性化を推進する。 参考：連合参加の団体や野市地区では自主グループでの参加もあるが、自治会ベースに想定すると45団体程度が参加上限。									
現状と課題(C)	各5町村地区ごとに、参加人数が少なくなっているのが現状である。そのため連合として参加しているチームが多い。参加団体数維持・増加のため自治会等の呼びかけや案内を早めに行う。			今後に向けた 具体的な取組(A)			広報やHPへの掲載、個別に案内状送付などを行い呼びかけを行うが、その前に運動会用プログラムの見直し、開催場所の見直しを考える。			

★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進

62	軽度生活援助事業 1月あたりの利用者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	22人	30人	30人	30人	30人	30人	【設定根拠】 高齢者福祉計画	
		実績値	22人							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆軽度生活援助事業 65歳以上の一人暮らし高齢者で介護保険サービスを受けていない方を対象に、掃除や買い物等の家事援助サービスを行うことで、要介護状態への進行防止、本人及び家族の身体的、精神的負担の軽減に取り組む。									
現状と課題(C)	介護保険での訪問介護の不足も伴い、生活援助サービスをこの事業で担っていくには、シルバー人材センターだけでは難しくなる。新たにNPO法人等も委託先として考えていく必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)			NPOの委託先を検討し、受け入れ体制を整える。			
63	ボランティア参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	760人	700人	700人	700人	700人	700人	【設定根拠】 高齢者福祉計画	
		実績値	710人							
		達成(評価) (C)	B							
事業内容(D)	◆高齢者の生きがいづくりや地域での支え合い・助け合いを目的に、65歳以上の方が、市の指定を受けた介護施設や介護予防事業等でボランティアを行った場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて香南市ギフトカタログの商品と交換できる事業。									
現状と課題(C)	受入施設側に制度の周知が十分にできておらず、実績の報告が上がって来てない現状がある。また、高齢化等でボランティア活動者が少なくなり、施設側のニーズに対応出来ない状況もある。今後は新たなボランティアの発掘と、受入側への制度周知が課題となっている。制度の運用については社会福祉協議会にあるボランティアセンターとの連携が不可欠なため、定期的に協議を行い進めていく。			今後に向けた 具体的な取組(A)			65歳到達者への介護保険証の配布時に、制度紹介のチラシを同封する。活動者と受入れ側との交流会を引き続き行い、マッチングを推進する。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援										
64	認知症サポーター養成講座受講者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	450人	270人	270人	270人	270人	270人		【設定根拠】
		実績値	268人							高齢者福祉計画
		達成(評価) (C)	B							
64	事業内容(D)	◆地域で認知症の方や家族を支援する見守り・支え合いの体制づくりを推進することを目的とした地域包括支援センターでの相談対応、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者を考える会への協力や認知症の講演会等の開催。								
	現状と課題(C)	町づくりの研修に組み込まれたり、認知症高齢者の増加により、地域住民の関心は高く研修会数は増えている。今後も地域での見守り体制づくりのために事業所等地域に向けて事業の周知をしていく。また、受講後活動できるキャラバンメイトの固定化が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)		認知症高齢者が在宅で生活が継続できるように理解者としてのサポーターの育成に努める。キャラバンメイトについては、名簿の整理を行うとともに活動の場の提供を行い活動を推進する。			
65	認知症カフェ参加者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	550人	450人	450人	450人	450人	450人		【設定根拠】
		実績値	447人							高齢者福祉計画
		達成(評価) (C)	B							
65	事業内容(D)	◆認知症の方やご家族等が、参加できる憩いの場として開催。知識の普及や介護負担の軽減を図る。								
	現状と課題(C)	直営と委託で3カ所実施。直営カフェにはケアマネジャーの参加もあり周知に努めているが、参加メンバーの高齢化や固定化が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)		認知症カフェを新たにもう1カ所直営で行う予定。ケアマネジャーや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関と連携し、新たな参加者の拡大に向けて事業の普及啓発を実施する。			

★目標 地域での支え合いがあり、香南市に住んでよかったと思える環境づくりの推進										
66	いきいきクラブ事業参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	5,700人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人		【設定根拠】
		実績値	5,592人							高齢者福祉計画
		達成(評価) (C)	B							
66	事業内容(D)	◆地域同士の情報交換や交流による主体的な活動とボランティア等人材育成、研修会の開催等により、介護予防の取り組みへの理解を深め、高齢者を地域で支える仕組みづくりを支援することを目的に実施。①いきいきクラブ事業(地域の高齢者の介護予防活動サークルへの支援)②自主グループ運動支援事業(地域の高齢者運動サークルの活動支援)③高齢者クラブ助成事業の実施。								
	現状と課題(C)	地区お世話係(代表者)の高齢化により新たな代表者の育成が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)		いきいきクラブ継続に向けて介護予防の内容が充実できるように派遣講師の紹介や、講師を呼ばなくても地区で取り組みやすい内容の研修会を企画する。			
67	シルバー人材センター登録者数	年度	H30 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	264人	250人	250人	250人	250人	250人		【設定根拠】
		実績値	218人							高齢者福祉計画
		達成(評価) (C)	B							
67	事業内容(D)	◆高齢者が経験を活かせる就労を確保し、生きがいを持って活動できる場としてシルバー人材センターが設置されており、活動の周知を行い、新規会員獲得の取り組みを支援する。併せて市からの委託事業の開拓等の支援を行う。								
	現状と課題(C)	近年、65～70歳といった年齢が現役で仕事をしているのが現状であり、入会してもハローワーク等で安定した仕事が見つかる傾向にある。入会者の高齢化もあり、登録者の確保が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)		新規会員の確保につながるように、シルバー人材センターの周知の支援を行う。			